

が終わったのは午前零時近いころで

した。芸術祭は午後8時から始まり4時間に及ぶ会でしたが、あつという間に時間がたっていました。観客も誰一人会場を立ち去る人はなく、最後まで熱心に見ていました。

ご当地では土曜日の催しはこのように夜遅く開催されるのが慣習のようで、われわれ日本人には驚きでし

た。

最後に行った柳生心眼流の演武が終わってしばし拍手が鳴りやみませんでした。直心影流の演者も加えて最後の礼を終え、熱気に包まれた会場を後にしました。心から充実した演武会であったと思います。

(文責 直心影流薙刀術

宗家・園部正美)

速谷神社で奉納演武

澁川一流柔術

4月13日、澁川一流柔術は広島県廿日市市にある速谷神社において、道場貫汪館で澁川一流柔術と並行して稽古をしている植田平太郎先生伝来の無雙神傳英信流抜刀兵法と共に奉納演武会を実施し、高校生以下の7名を含む21名が参加し演武を行った。

開会式では貫汪館顧問岡田民哉先生より以下の言葉をいただいた。

「演武を始めるに当たり一言述べさせていただきます。奉納演武は神様に日頃の稽古の成果である心のありさまと身についた業を見ていただく

機会です。たとえ失敗しても心を乱すことなく、御神前に奉納するとい

う素直な気持ちを忘れず演武するよ

う心がけてください。森本先生は、

常々、無理無駄のない心のあり方と

身体の動きを指導されています。皆

さんもそれに従い稽古を積み重ねて

おられることと思います。本日も、

普段の稽古どおり心にも身体にも無

理無駄なく自然体のままで演武でき

ればよいと思います」

演武でははじめに貫汪館顧問の岡

田先生と参事の上條雅弘先生に居合

の演武の範を示していただき、次い

で森本邦生と丸田愛が無雙神傳英信流抜刀兵法太刀打の形を演武した。

無雙神傳英信流抜刀兵法は土佐の細川義昌先生より植田平太郎先生に伝えられた居合で、貫汪館では澁川一流柔術の形の体系が最終的に剣に對する技術を身につけるように仕組まれていくことから、柔術の稽古をより深いものにするために、時間があ

る限り積極的に無雙神傳英信流抜刀兵法の稽古をするよう勤めてい

る。年少者、初心者の演武はそれぞれ習っている形の中でより難しい形を演武すべく、この日に備えて稽古を重ね、よくその成果を発揮していた。

また上級者は年少者、初心者に範を示すため、難易度の高い形を演武した。

開会式では貫汪館参事の上條先生から講評をいただいた。

「皆さん、本日の演武を振り返ってみていかがでしたか。各自が思い描いていたとおりの演武ができたでしょうか。今回の演武では特に子ども

の皆さんの目が生きていたように思います。よく稽古されたことがうかがえました。引き続き努力を重ねて

ください。

今日の演武で、皆さん一人ひとりに新たな課題が見つかり、今後の稽古でどのようにしていけばよいのかわかったと思います。今後その思いに少しでも近づけるよう、先生の教えを素直に守り、稽古に励んでいただきしたいと思います。次の演武会で皆さんの演武を拝見するのを楽しみにいたしております」

演武会終了後は澁川一流柔術師範代竹本康祐の指導のもと、子どもたちも率先して後片付けを行い、さらなる上達を願ひ、速谷神社を後にした。

(文責 澁川一流柔術代表・森本邦生)

参加者全員 速谷神社境内で



が終わったのは午前零時近いころで

した。芸術祭は午後8時から始まり4時間に及ぶ会でしたが、あつという間に時間がたっていました。観客も誰一人会場を立ち去る人はなく、最後まで熱心に見ていました。

ご当地では土曜日の催しはこのように夜遅く開催されるのが慣習のようで、われわれ日本人には驚きでし

た。

最後に行った柳生心眼流の演武が終わってしばし拍手が鳴りやみませんでした。直心影流の演者も加えて最後の礼を終え、熱気に包まれた会場を後にしました。心から充実した演武会であったと思います。

(文責 直心影流薙刀術

宗家・園部正美)

速谷神社で奉納演武

澁川一流柔術

4月13日、澁川一流柔術は広島県廿日市市にある速谷神社において、道場貫汪館で澁川一流柔術と並行して稽古をしている植田平太郎先生伝来の無雙神傳英信流抜刀兵法と共に奉納演武会を実施し、高校生以下の7名を含む21名が参加し演武を行った。

開会式では貫汪館顧問岡田民哉先生より以下の言葉をいただいた。

「演武を始めるに当たり一言述べさせていただきます。奉納演武は神様に日頃の稽古の成果である心のありさまと身についた業を見ていただく

機会です。たとえ失敗しても心を乱すことなく、御神前に奉納するとい

う素直な気持ちを忘れず演武するよ

う心がけてください。森本先生は、

常々、無理無駄のない心のあり方と

身体の動きを指導されています。皆

さんもそれに従い稽古を積み重ねて

おられることと思います。本日も、

善段の稽古どおり心にも身体にも無

理無駄なく自然体のままで演武でき

ればよいと思います」

演武でははじめに貫汪館顧問の岡

田先生と参事の上條雅弘先生に居合

の演武の範を示していただき、次い

で森本邦生と丸田愛が無雙神傳英信流抜刀兵法太刀打の形を演武した。

無雙神傳英信流抜刀兵法は土佐の

細川義昌先生より植田平太郎先生に

伝えられた居合で、貫汪館では澁川

一流柔術の形の体系が最終的に剣に

対する技術を身につけるように仕組

まれていることから、柔術の稽古を

より深いものにするために、時間が

ある限り積極的に無雙神傳英信流抜

刀兵法の稽古をするよう勤めてい

る。

年少者、初心者の演武はそれぞれ

習っている形の中でより難しい形を

演武すべく、この日に備えて稽古を

重ね、よくその成果を発揮していた。

また上級者は年少者、初心者に範

を示すため、難易度の高い形を演武

した。

開会式では貫汪館参事の上條先生

から講評をいただいた。

「皆さん、本日の演武を振り返って

みていかがでしたか。各自が思い描

いていたとおりの演武ができたでし

ようか。今回の演武では特に子ども

の皆さんの目が生きていたように思

います。よく稽古されたことがうか

がえしました。引き続き努力を重ねて

ください。

今日の演武で、皆さん一人ひとりに新たな課題が見つかり、今後の稽古でどのようにしていけばよいのかわかったと思います。今後その思いに少しでも近づけるよう、先生の教えを素直に守り、稽古に励んでいただきしたいと思います。次の演武会で皆さんの演武を拝見するのを楽しみにいたしております」

演武会終了後は澁川一流柔術師範代竹本康祐の指導のもと、子どもたちも率先して後片付けを行い、さらなる上達を願い、速谷神社を後にした。

(文責 澁川一流柔術代表・森本邦生)

参加者全員 速谷神社境内で

